

川口市議会 12 月定例議会において、12 月 9 日・14 日金子ゆきひろ議員、板橋ひろみ議員が一般質問に立ちました。 前号に続き、内容の一部を掲載します。

物価高騰対策への市独自の追加支援策について

問→水道料金の引き下げを

いま物価高騰対策として水道料金の引き下げをすることについて提案します。そもそも川口市は2020年9月1日から水道料金を平均25.01%引き上げる計画でしたが、コロナ禍のもと2021年1月1日からの延長するという柔軟な対応をしたわけです。そうであれば、コロナ禍に加えて物価高騰で市内業者や市民生活が圧迫されているわけですから、物価高騰対策として平均25.01%の水道料金引き下げをすべきかと思えます。市の試算を参考としますと3人の世帯で口径20ミリ管で20立方メートル使用した場合で、水道と下水道の料金、2カ月に一度請求がされますが現行で11102円の支払いが9650円に引き下がります。市として難しい仕事をせずとも実施できることですし、広く市民に喜ばれると思えます。するのかしないのか、川口市がどういうメッセージを示すかが問われます。市の見解をお聞かせください。

答→水道料金を改定前の水準に引き下げた場合、独立採算を原則とする水道事業において多額の減収が見込まれ、今後、必要な工事が必要な時期に実施できない状況となります。

高齢者が安心して生活できる川口市に

問→加齢性難聴に対する補聴器購入に助成制度を

国会において、加齢性難聴は日常生活を不便にし、生活の質を落とすだけでなく、うつや認知症の原因にもなることも指摘されています。難聴を「医療」のカテゴリーでとらえ補助制度がある欧米と比べ、日本は「障害者」のカテゴリーでとらえて助成対象を絞り込んでいるため、補聴器所有率が圧倒的に低い状況です。なるべく早い補聴器の使用が「聞こえ」の改善にとって大切とも言われていますが、年金生活者にとって金額が高いこともあり、使用できるかどうかは経済力によって左右されてしまいます。東京23区の6割で助成をおこなっています。中野区などほかの区や都内の市でも助成制度創設の動きが出ています。まだ埼玉県内では助成している市町村はありません。川口市として制度を開始すべきと思いますが答弁をお願いします。

答→助成制度の検討にあたっては、難聴の高齢者の生活状況やニーズを把握するとともに専門医との連携も必要であると考えています。川口市医師会との連携を含め検討を進めてまいりたいと存じます。

障害を抱えた人が自分らしく生きていけるための暮らしの場の整備を急げ

一入所施設の待機者129人・グループホームの満床率約94%・

しらゆりの家(定員10人)登録者531人—

現在、川口市内には3か所の入所施設があります。令和4年11月1日現在、川口市の入所施設の待機者は129人となっており市内への入所施設設置は喫緊の課題です。

「親に余裕があるうちの自立が大切」、「現状のグループホームでは重度の仲間は難しく取りこぼされてしまう。今、私たちが望んでいる住み慣れた地域で入所施設をという願いは国のいう地域社会での生活に沿っている。一人暮らしやグループホーム入所施設、その子が自分らしく幸せに暮らせる場を地域に増やすことこそが本当の福祉の姿だ」などの声に応えることが行政の責任です。

問→待機者をなくすための今後の入所施設設置について

答→民間事業者の力も活用して整備を進めていく。今後も施設整備に係る補助金の交付も含め、必要な施設の確保ができるよう支援をしていく。グループホーム等居住系サービスの支援をしていく。

問→グループホームの専門職員の配置状況について

令和4年4月1日現在で、市内のグループホームは25事業所・70施設・定員407名で満床率は約94%と伺っています。グループホームの人員配置基準は資格要件を問わない生活支援員、世話人となっている。一人ひとりの障害特性に寄り添える専門職員の配置が必要です。

答→市内グループホームの専門職員配置状況について、看護師配置は1事業所、社会福祉士等配置は8事業所となっている。

問→第2しらゆりの家設置について

市の指定管理者制度のもとで実施されている短期入所施設「しらゆりの家は、緊急時の対応も行っています。令和3年度は登録者531人、延べ利用者1898人です。現在の定員10人では足りません。在宅生活を支えるために第2しらゆりの家の設置を早急に検討することです。

※グループホームの満床率は約94%。グループホーム頼みではなく公的責任で短期入所施設の第2しらゆりの家の設置が早急に求められます。

答→さらなる整備の必要性は認識している。グループホーム等の開設を希望する事業者に短期入所併設整備の働きかけをする。

年末年始のごみ収集についてお知らせします

ごみを出す場所	ごみの種別		収集日 年末	収集日 年始
一般ごみ ステーション	一般ごみ 有害ごみ	月・木 収集地区	12月29日(木) まで	1月5日(木) から
		火・金 収集地区	12月30日(金) まで	1月6日(金) から
	プラスチック製容器包装		12月28日(水) まで	1月4日(水) から
資源物 ステーション	びん・飲料かん ペットボトル 繊維類・紙類・金属類		12月29日(木)～1月3日(火) までの収集はありません (1月4日(水)から各地区の収集日に 合わせて収集)	
公民館など	乾電池(拠点収集)		各拠点施設の開館日	

※事業所のごみは、家庭ごみステーション(一般ごみステーション・資源物ステーション)には出せません。自己搬入するか川口市一般廃棄物収集運搬業許可業者に依頼してください。

※ごみの自己搬入・・・[年末]12月28日(水)まで[年始]1月4日(水)から
(土・日曜、祝日を除く 受付時間9:00～11:30、13:00～16:00)

問い合わせ・・・資源循環課 電話048-228-5370 FAX048-228-5322

※粗大ごみ収集申し込み・・・[年末]12月28日(水)まで
[年始]1月4日(水)から(土・日曜、祝日を除く)(受付時間/9:00～17:00)
混雑状況により収集日が年明けになることもありますので、ご注意ください。

問い合わせ・・・収集業務課 電話048-251-1174 FAX048-254-0719

1月の 無料 法律相談

- ◎日時/1月10日(火)18時30分～
- ◎会場/日本共産党埼玉南部地区委員会事務所2階
事前にご予約の上お越し下さい。コロナウイルス対策のため、
申し込みの際は必ずご連絡先の電話番号をお知らせ下さい。
よろしく申し上げます。

主催：日本共産党川口市議会議員団
川口市前川2-28-10 電話048-267-8411

今年を振り返り、来年を明るい年にするために

2022年は、ロシアによるウクライナ軍事侵攻や北朝鮮のたび重なるミサイル発射など、対話による平和構築という世界の流れに反する脅威を生み出した1年となりました。一方で日本政府はGDP(国内総生産)比2%に相当する防衛予算の増額を目指し、2023年から5年間で43兆円もの軍事費を計画しています。また、その財源確保のため歳出削減や増税を検討するという、市民生活を顧みない政治を展開しようとしています。私たち日本共産党川口市議団は、憲法25条2項に定められた「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」ことや地方自治法第1条の「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図る」ことを遵守し、今後も皆さんのご意見、ご要望を伺い市政、県政、国政に反映させるため、全力で頑張る決意です。2023年が明るい未来をつくるきっかけの年となるよう、皆さんも一緒に声をあげていこうではありませんか。

年末年始の漏水対応についてお知らせします

宅地内漏水修理(有料)当番表

29日(木)	30日(金)	31日(土)
(株)古谷設備 TEL048-295-5052 (有)斎藤設備工業 TEL048-266-2352 大同管工設備(有) TEL048-281-2967	(同)翔栄設備 TEL048-437-1597 (有)梅沢水道 TEL048-265-7739 (有)フタバ設備 TEL048-294-1051	(株)中島水道 TEL048-281-1140 (株)嶋田設備工業 TEL048-265-5555 (株)ユニパック TEL048-258-6991
1日(祝)	2日(月)	3日(火)
(株)大木設備 TEL048-262-1612 (有)和光工業 TEL048-296-0960 シマダ企画建設 TEL048-266-8000	川口試錐工業(有) TEL048-222-4767 (株)マルサン設備 TEL048-255-8227 小林設備工業(株) TEL048-431-5168	(有)渡辺設備 TEL048-265-9021 (有)ヤハギ水道 TEL048-223-3786 (株)アパックエンジニアリング TEL048-264-1110

(水道メーターボックスから宅地内の漏水修理は川口管工事業協同組合が上記当番表に基づき実施します。)

受付時間/8:30～17:00

(17:00～翌朝8:30までは川口市管工事業協同組合 ☎048-251-7802)

※道路から水道メーターまでの漏水修理は、上下水道局へ(☎0120-641-119)にご連絡ください。

※問い合わせ・・・上水道維持課 電話048-258-4132(代表)